

目 次

ロシア鉄道改革の焦点	齋藤大輔	1
『ロシア東欧貿易調査月報』最新号のお知らせ		8
PR◆『ロシア語慣用句辞典』(東洋書店)		8
速報の電子化(メール配信化)についてのお知らせ(アンケート結果と今後の予定)		9
CIS・中東欧諸国通貨の為替レート		9

ロシア鉄道改革の焦点

はじめに

ロシアのプーチン大統領は2001年5月、ロシア鉄道を抜本的に改革するプログラムを採択し、ロシア版国鉄改革をスタートさせた。ロシアの鉄道事業は構造的な欠陥を抱えており、事業別の分割・民営化を柱とする抜本的な改革措置を講じることにより、交通市場での競争に耐えうる組織に変革し、輸送の安定性と安全性、サービスの向上、効率的で便利な輸送システムの形成等を通じて、国民の輸送ニーズに対応しうるよう鉄道事業を再生することを目的とする。

ロシアの鉄道改革はこれまでも自然独占分野の改革として何度か計画されてきたものの、いずれも具体的な計画の作成に至らないまま、今日に至っている。鉄道事業を再生するという大改革の成否は時の政権のリーダーシップに多くを負っている。プーチン政権は就任1年目にして権力基盤を固め、国民から高い支持を得ている。こうした追い風を武器にプーチン政権は改革を断行する強い意志を示しており、その実現性は高いと考える。そこで本稿では、ロシア国鉄の現状と構造的な欠陥について述べるとともに、改革の内容を紹介する。

1. ロシア鉄道の現状

ロシアはその広大な国土に約8万6,000kmの鉄道網を有している。その規模は世界第2位(世界の約7%)であり、電化距離では第1位、貨物輸送量では第3位である。